

はんだ

市議会だより

No.203
2018.8.1



- 一般質問、10人が市政を問う! P.2~5
- 6月定例会審議結果 P.6・7
- 各委員会、プロジェクトの調査テーマ P.8
- 半田市議会1年間の動き P.9
- あの提言はどうなった? P.10
- 政務活動費活動報告 P.11

市政を問う

一般質問

6月定例会における市政に関する一般質問は、6月19日、20日、21日に行われ、10人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

* 質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。会議録は市議会ホームページに掲載、もしくは半田図書館・亀崎図書館に設置してあります。ご利用ください。

問 納品される食材の製造工程や検査なども書類で管理するようにし

給食 安全で美味しい学校

答 食材受け入れは、栄養教諭、栄養職員、調理委託業者の栄養士が検収責任者として受け入れ検査をしています。異物混入は、給食センターへ報告を受けた件数では平成29年度が10件で、対策として混入が発覚した都度、異物の内容、状態などをもとに原因を特定し、納入業者や調理業者の関係者に対し、今後の防止対策を検討、徹底させることにより再発防止に努めています。食中毒対策は、調理・配膳作業における手洗いの徹底や本人又は家族に下痢や嘔吐などの症状がある調理員は、ノロウイルスの検査を実施し、結果が出るまで自宅待機させ、人を原因とする食中毒の防止に努めています。

問 異物の現状と改善を伺います。

答 食材の受け入れ検査・異物混入・食中毒対策の現状と改善を伺います。



志民ネット 小栗佳仁

問 建設が望ましいと思えますが如何でしょうか。

答 より安全で美味しい給食を提供するためには、なるべく早期に建設することが望ましいと考えています。

問 野産食材を積極的に取り入れる取り組みを検討するべきと考えますが見解を伺います。

答 これまで白米のほばすべて調味料は市内の製造品を使用するなど進めてきました。野菜類については、生産者、流通業者、JAなどの関係者からの情報収集や意見交換を進めながら、地元産食材の取り入れを進めていきたいと考えています。

問 異物の種類や時期などグラフ化や見える化はできないでしょうか。

答 異物混入の内容を検証するためには、傾向分析やグラフ化が必要だと考えます。

問 異物の種類や時期などグラフ化や見える化はできないでしょうか。

答 県内で書類の提出を求めている市町は少なく、事務の負担もかかることから、実施することは困難だと考えます。

問 現在のところ相談事への対応を伺います。

答 例は無いですが必要となれば当該児童生徒と対話して、男女別のトイレや着替え場所、また制服等について、最適な対応を考えていきます。

問 児童生徒がいじめや不登校になる事例があります。教職員の指導力向上に取り組んでいますか。

答 全国ではLGBTの児童生徒がいます。LGBTの児童生徒がいじめや不登校になる事例があります。教職員の指導力向上に取り組んでいますか。

問 国民の13人に1人、約8%はLGBTとのことですが、半田市では支援する体制が出来ていません。今後の取り組みの考えを伺います。

LGBT(性的少数者)への支援体制



日本維新の会・無所属 竹内功治

問 市民相談の対応はどうか考えていますか。

答 現在、人権相談や保健師等による相談窓口はありますが、LGBTは専門的且つ繊細な対応が必要のため、国、県、支援団体等の相談窓口の周知に努めています。

問 今年度中に市報で、LGBTへの理解を促す記事を掲載します。

答 全国では自治体同士が力を合わせるパートナーシップ制度の導入、支援の充実を図る支援宣言、人権の条例や要綱、また男女共同参画の基本計画等にLGBTへの理解や支援が明記されています。今後のLGBTに対する取り組みの考えを伺います。

問 専門窓口までは考えていませんが、職員研修は行い、専門窓口を考えてはどうか。

答 専門窓口までは考えていませんが、職員研修は行い、専門窓口を考えてはどうか。

問 専門窓口までは考えていませんが、職員研修は行い、専門窓口を考えてはどうか。

問 専門窓口までは考えていませんが、職員研修は行い、専門窓口を考えてはどうか。



市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)



創造みらい半田 岩田 玲子

高齢者の交通安全 対策

問 高齢者が交通事故に巻き込まれ、亡くなられるという、大変心が痛む事故が多発しています。超高齢社会で、年々増加傾向にある高齢者の交通事故に対して、半田市の問題意識はいかがですか。

答 問題であると意識しており、様々な対応をとっていききたいと思っています。

問 免許証を持っていない人等、交通安全教育を受ける機会が少ない人が事故に遭うことが多いというデータがあります。半田市として交通安全教育を受ける機会を増やすことで、新たな被害者を生まないようにしてほしいと考えます。半田市の見解はいかがですか。

答 地区の敬老会や老人クラブの会合など、高齢者の皆さんが集う機会を活用した交通安全教室を行っています。

問 新たに被害者を生まないためにも、半田市だけではなく、警察の

力をお借りし、専門の知識を頂きながら、連携していく必要があります。半田市の見解はいかがですか。

答 今後は、交通安全教室のチラシを作製し、市から老人会等に開催を働きかけ、市内全域で実施できるように進めていきます。

問 交通事故の加害者にならないために、半田市ができる対策はありますか。

答 自動車を運転しないことが第一で、運転免許返納を促すことは重要と考えています。

問 運転免許自主返納について、半田市として積極的に進めていく考えはありますか。

答 コミュニティバスの本格運行に合わせ、運転免許の自主返納を支援する効果的な制度を導入していきます。

問 警察には運転免許自主返納に関して、家族や本人が相談できる窓口がありますが、市報などでPRするなど、警察と連携していく考えはありますか。

答 高齢者の運転免許返納者の推進に向けた啓発活動を連携して取り組んでいきます。



日本維新の会・無所属連合 中川 健一

学童保育料を値下げしても、子育て支援はバラ色にならない

問 小学校低学年の学童保育料を大府市と同額の5千円ではなく、知多市より5百円安い9千円にした理由はありますか。

答 アンケート調査で学童保育料が高いという意見が多く、近隣他市並みにする必要があると考えたためです。

問 半田市のサービス時間と東海・大府・知多市と同様の午後7時まではとすると、延長料金を含め月額約1万1千円となります。知多半島一高い学童保育料は変わりませんか。月額5千円としなかつた理由はありますか。

答 戦略的な価格設定も視野に入れるべきと考えています。皆様の意見を伺いながら改めてご提案をさせて頂きます。

問 人口89万人の大府市は学童保育の登録者が1314人です。12万人の半田市は72人で、多くの隠れ待機児童がいると想定されます。学童保育所の増設が優先ではあ

りませんか。在校児童数と利用率を基に推計したところ、成岩小学校区を除き、当面待機児童は発生しないと見込んでいます。

問 東海・大府・知多市の学童保育所は定時で午後7時です。半田市は午後6時30分です。名古屋市内で働く保護者が午後6時30分までに半田市内へ帰宅できますか。

答 今後、保護者負担を見直す中で開所時間も検討していきます。



創造みらい半田 久世 孝宏

市長の政治姿勢を問う

問 2月に公表された市長公約の進捗状況のうち、半田病院の「早期」建て替えについて、その実施方針を「公約通り」としています。建設地を変更し開院が遅れることは、公約通りではないとすることが一般的な考えだと思えますがどうですか。

答 建設予定地、時期が変更となりましたが、早期建設という大きな目標には変わりがないことから、公約通りと判断しました。

問 その判断に無理があるという指摘をしています。どう思いますか。

答 真摯に受け止める、若干無理があると思います。政治家の務めとして、実績を残すことが3割、7割は方針・政策をしっかりと説明することだと思っています。どのような病院にするか決めた時点で、あらためて説明をし、責任を果たしていきたいと考えています。

問 子育て支援は手段であり目的ではない。その中で、事業単体での比較や検討から提案をされても、子育て支援全体を考えなければ判断ができません。また、子育て支援をどこまで行えばよいのかもわからない。目標達成のためにどのようなことが必要で、そのため何と何を行うのか等、全体像を明確に示すべきと考えます。どうですか。

答 子ども子育て支援事業計画の中で、明確にすべきであったと考えます。施策体系を立てながら、事業を行っていくと聞いています。

問 少子化対策のために、も子育て支援の充実が必要であるのなら、出生数の目標を定めるべきと考えますがどうですか。

答 子ども子育て支援事業計画を見直す時には考えていきたいと思っています。



問 子育て支援は手段であり目的ではない。その中で、事業単体での比較や検討から提案をされても、子育て支援全体を考えなければ判断ができません。また、子育て支援をどこまで行えばよいのかもわからない。目標達成のためにどのようなことが必要で、そのため何と何を行うのか等、全体像を明確に示すべきと考えます。どうですか。

答 子ども子育て支援事業計画の中で、明確にすべきであったと考えます。施策体系を立てながら、事業を行っていくと聞いています。

問 少子化対策のために、も子育て支援の充実が必要であるのなら、出生数の目標を定めるべきと考えますがどうですか。

答 子ども子育て支援事業計画を見直す時には考えていきたいと思っています。

問 今後は総合的に子育て支援を捉え、進めてほしいと思います。どうですか。

答 そのような観点で子育て支援の環境を整備し、PRしていきたいと思っています。

問 子育て支援は手段であり目的ではない。その中で、事業単体での比較や検討から提案をされても、子育て支援全体を考えなければ判断ができません。また、子育て支援をどこまで行えばよいのかもわからない。目標達成のためにどのようなことが必要で、そのため何と何を行うのか等、全体像を明確に示すべきと考えます。どうですか。

答 子ども子育て支援事業計画の中で、明確にすべきであったと考えます。施策体系を立てながら、事業を行っていくと聞いています。

問 少子化対策のために、も子育て支援の充実が必要であるのなら、出生数の目標を定めるべきと考えますがどうですか。

答 子ども子育て支援事業計画を見直す時には考えていきたいと思っています。



公明党 山田清一

市民の足を確保する 新たな地域公共交通

問 市内のバス利用者数は一日1100人。平成34年の目標値一日2700人達成の利用促進策はどうか。

答 市内を運行するバスの運賃は、片道200円を上限とし、基幹路線の運行本数は、概ね30分に1本とします。乗換は必要ですが、地区路線Aにおいて、地域で利用されている店舗や病院、公共施設等を経由します。日本福祉大学や半田東高校に通学する学生などを対象とした利用促進にも取り組めます。

問 近隣市町との連携は、どのように考えていますか。

答 本年10月の実証運行に合わせ武豊町コミュニティバスは青山駅に乗り入れる予定となっております。乗り継いで武豊町内に行くことが可能になります。今後、阿久比町や東浦町のコミュニティバスとも、相互乗り入れや乗り継ぎができるよう協議を進めます。

問 運動免許証自主返納を推奨する公共交通利用の特典は、何を考えていますか。

答 平成31年10月からのコミュニティバス本格運行に合わせ、バスの無料乗車券など、運転免許の自主返納を支援し、公共交通の利用促進につながる制度にします。

企業誘致

問 平成34年完成予定とされる工業団地の進捗状況はどうか。

答 構想区域内において、産業廃棄物が確認されました。構想区域の見直しや新たな候補地の可能性についても、検討を進めています。

問 半田市へ進出したい企業、又は事業拡大のため土地や物件を探している企業への支援体制の充実はどうか。

答 情報提供するとともに、未利用地や工場、倉庫などの空き物件情報を基に企業間マッチングにつなげています。

問 各地で企業立地マッチング促進事業が行われており、土地がない状況であるがゆえに掘り起しが必要ですか。市長の考えはどうか。

答 進めていきます。

問 被災者生活再建支援事業制度を設けてください。

答 愛知県が昨年9月議会において、日本共産党の下奥議員の質問によって、災害に遭われた方の住宅全壊被害が10世帯未満の市町村における被災世帯に対して支援金を支給する市町村への補助制度を創設しました。半田市は要綱をいつまで作成する予定ですか。

答 すでに要綱の作成に取り組んでおり、9月定例会において、補正予算案で審議して頂く予定になっていきます。



無所属 山本佳代子

被災者生活再建支援事業制度を設けてください

問 半田中央線の名鉄半田口駅までの延長はできませんか。

答 半田中央線は、観光施設や店舗を繋ぐ路線として設定。また岩滑交差点の交通量が多く、運行ダイヤや通行車両に影響を及ぼすので、地域が主体となり、運営する地区路線Bの導入を支援していきます。

問 関係者が連携・協働し公共交通を支え、育む仕組みの構築で、目標を年間5件としたことの根拠は何ですか。

答 基幹路線2路線、地区路線A3路線に、地域をめぐる協働事業を各路線に1件取り組んで頂きたく、5件としたものです。

問 地区路線B導入にあたり、地区バス会の立ち上げに、マニュアルが必要ではないですか。

答 作成し、地域に提供していきます。

問 地区路線Bにタクシーを活用する考えはありますか。

答 あります。

問 望まぬ受動喫煙による影響は何ですか。

答 喫煙者が直接タバコを吸う「主流煙」よりもタバコの中から出る「副流煙」に有害物質が数倍多く含まれます。喫煙していない周りの人が、副流煙と喫煙者の吐き出した煙を吸い込む「受動喫煙」は、特に妊婦や子どもへの健康へ与える影響が大きいものと認識しています。



無所属 加藤美幸

喫煙のあり方を見直して健康なまちづくりを

問 喫煙のリスクは何ですか。

答 命にかかわる危険な病気の発症原因です。タバコの煙は健康被害をもたらす化学物質を多く含み、がんの原因となる他に動脈硬化を進行させ心筋梗塞など循環器の病気や肺機能低下による呼吸器の病気を引き起こします。

問 望まぬ受動喫煙による影響は何ですか。

答 喫煙者が直接タバコを吸う「主流煙」よりもタバコの中から出る「副流煙」に有害物質が数倍多く含まれます。喫煙していない周りの人が、副流煙と喫煙者の吐き出した煙を吸い込む「受動喫煙」は、特に妊婦や子どもへの健康へ与える影響が大きいものと認識しています。

問 禁煙したい人への相談やサポートはありますか。

答 保健センターに相談してもらい禁煙治療

問 歩きタバコによる火傷などの事故や吸殻のポイ捨て防止のための喫煙マナーの啓発をどう考えていますか。また公共施設や祭り、イベント等における喫煙所のあり方はどう考えますか。

答 すでに環境保全条例でタバコのポイ捨て等は禁止されていますが、今後は環境美化の観点から周知を図ります。人が多く集まる場所での喫煙所は人が往来する場所から極力離して設置するとともにその場所を喫煙者に分かるようにするなどに今後は運用指針を定めたいです。

問 国会で健康増進法の改正が審議され受動喫煙対策が強化されようとしていますが、東京都はオリンピックの開催を控えさらに厳しい条例が検討されています。半田市もこのような動きを注視しどういう方法が適切か、まずは施設やイベントでのガイドラインや指針をつくりたいです。

問 国会で健康増進法の改正が審議され受動喫煙対策が強化されようとしていますが、東京都はオリンピックの開催を控えさらに厳しい条例が検討されています。半田市もこのような動きを注視しどういう方法が適切か、まずは施設やイベントでのガイドラインや指針をつくりたいです。





公明党
山本半治

胃がんリスクの軽減

問 胃がんの98%がピロリ菌感染と言われ除菌することが大切ですが、半田市で行っている国民健康保険加入者の内、ピロリ菌検査補助が受けられる40歳から5歳刻みで65歳までの対象者の受診結果をお尋ねします。

答 平成29年度の対象者は2160人で受診者は402人、陽性反応者は11人です。

問 受診率が約19%で低すぎます。受診の大切さを市民にもっと伝えるべきではないですか。

答 しつかりPRに努め5割の方には受けて頂きたいと思えます。

問 更なる胃がんリスクの軽減を計るために、中学生からピロリ菌検査を実施すべきと考えます。除菌治療に副作用があることや、子どもに対する安全性が確保されていらないことから、実施は考えていません。

問 他県、他市町で実施しており、知多市でも平成27年度から蒲郡市も平成29年度から行って

います。中学生の内にピロリ菌が見つければ、家族感染の可能性も分り早期対策が可能です。そうなれば将来的に胃がんリスクの軽減が計られると共に医療費の抑制が期待できます。早期実現すべきと考えます。

答 医師会の総会で確認して前向きに考えていきます。

祖父母世代の子育て支援

問 育児環境・技術が大きく変わり、祖父母世代と子育て世代の子育ての常識にギャップが生まれています。孫育てを応援する「祖父母手帳」を作成し、子育て支援の充実を図るべきと考えます。

答 子育て世代や祖父母世代の声を参考に、来年度発行に向けて、半田市版の「祖父母手帳」を作成します。

問 祖父母世代の力を借りて、地域の子育て力、地域力を高める対策が必要と考えます。

答 本市の誇る地域力を活用して、地域の子育て力、地域力を高める取り組みを拡大します。



創造みらい半田
中村宗雄

半田病院移転に伴うインフラ整備はどうなっているのか

問 新病院の移転先は具体的には半田運動公園のどの位置になりますか。

答 半田運動公園の南端に位置する多目的グラウンドと第4駐車場からさつき園までを含めた約4ヘクタールに建設する予定です。

問 建設場所の代替施設の整備と、大規模災害発生時の自衛隊等の駐留地となる半田運動公園の持つ防災機能は喪失しないのですか。

答 同規模の公園機能を維持するために、隣接する農地を早期に取得しグラウンドを整備します。また、そのグラウンドを使用することで、防災機能の喪失はないと考えています。

問 現半田病院の施設や跡地利用はどうする考えですか。

答 診療棟や病棟などの建物は解体し、その後の跡地の活用方法は検討中です。

問 新半田病院へ半田市北東部からのアクセスに必要不可欠な都市計画道路環状線は新病院開院時期の2025年までに開通できない理由は何ですか。

答 昭和41年都市計画決定された県道阿久比半田線と平面交差をして半田線の高架で超えていく環状線の計画は、愛知県の安全基準に適合しておらず、現計画どおりに行うことは困難と考えます。

問 安全基準に適合して阿久比半田線の平面交差を諦めるか、名鉄を下越しするか、なぜ出来る方法を考えないのですか。

答 当事者である阿久比町と武豊町の行政と商工会議所も含め、大村知事にも相談し新病院開院までの開通のために全力で努力します。

問 救急搬送時間の短縮や広域救急対応を考えると、救急車の直接乗り入れを可能にする知多半島道路と新半田病院をスマートICでの接続が必要と考えますがいかがですか。

答 スマートICの設置は国の許可を受ける必要があり、半田中央ICからも近いので困難だと考えます。

ぜひ本会議をご覧ください。

- ☆ 本会議の一般質問等の録画映像を動画配信サイトYouTubeにて配信しています。
- ☆ 今号から、議員毎にYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しました。いつでも・どこでも視聴できますので、ぜひご覧ください。
- ☆ 今年度（6月定例会）から、ケーブルテレビCACで放送を開始しています。放送時期は、本会議の翌日や翌々日の午後7時頃からを予定していますが、詳細につきましては本会議の約一週間前に決定しますので、議会事務局（TEL:84 - 0694）までお問い合わせください。



審 議 結 果

平成30年第3回定例会（6月19日～29日）

（ ）内は議案の補足説明です。

■全会一致で可決の案件

議案 番号等	議 案 名	議決結果
議案 48	平成30年度半田市立半田病院事業会計補正予算第1号 (半田病院整備のために40万円のご寄附を頂いたことに伴うもの)	原案可決
諮問 1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (任期満了に伴い榊原顕太郎氏とするもの)	答申
議員 提出2	特別委員会の設置について	原案可決

■その他の案件

議案 番号等	議 案 名
報告4	専決処分の報告について（道路管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定）
報告5	専決処分の報告について（除草作業中の事故の和解及び損害賠償の額の決定）
報告6	半田市土地開発公社の経営状況について
報告7	平成29年度半田市一般会計事故繰越しの繰越しについて
報告8	平成29年度半田市一般会計繰越明許費の繰越しについて
報告9	平成29年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて
報告10	平成29年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて
	特別委員会委員の選任について



■賛否の分かれた案件

議案 番号等	議案名	議員名											議決結果											
		創造みらい半田							公明党		志民 ネット			日本維新の会 無所属連合		無所属								
		嶋崎 昌弘	成田 吉毅	岩田 玲子	鈴木 幸彦	沢田 清	中村 宗雄	渡辺 昭司	石川 英之	澤田 勝	榊原 伸行	久世 孝宏	山田 清一	鈴木 好美	山本 半治	小栗 佳仁	小出 義一	中川 健一	竹内 功治	山本佳代子	加藤 美幸	新美 保博		
議案 47	平成30年度半田市一般会計補正予算 第1号 (総務：板山区、半田北区のコミュニ ティ環境整備助成事業など 文教：認 知症高齢者や障がい者などが運営に携 わる、常設型サロンを有楽町に開設 建設：バイオマス利活用支援事業の補 助金他)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	原案可決	
議案 49	半田市市税条例等の一部改正について (国の地方税法等の一部を改正する法 律の施行に伴う市税条例等の一部を改 正するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	原案可決

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員



山本佳代子議員
議案第47号一般会計補正予
算、本年10月からの生活保護
基準見直しに伴うシステム改
修費が含まれています。議案
第49号は基礎控除を10万円上
乗せするが、給与所得控除を
減らし、働き方改革で様々な
働き方を奨励していく政策に
呼応していることで、問題が
ありません。「生産性革命」の
実現に向けた一部企業のみ
特化した減税には反対です。

議案47・49号に反対

反対討論

国際化への対応
調査特別委員会

サブテーマは、半田市の国
際化への対応についてとし、
調査研究していきます。

- 委員長 中村 宗雄
副委員長 小出 義一
委員 竹内 功治
山本佳代子
澤田 勝
山田 清一
加藤 美幸
石川 英之
久世 孝宏

新半田病院への
交通アクセス調査
特別委員会

サブテーマは、新半田病院
への交通アクセスについてと
し、調査研究していきます。

- 委員長 中川 健一
副委員長 榊原 伸行
委員 小栗 佳仁
成田 吉毅
岩田 玲子
鈴木 幸彦
鈴木 好美
山本 半治
新美 保博

本会議会議録・委員会(予算・決算審査) 会議録閲覧のご案内

市政に関する一般質問や、議案の提案説明、討論、委員会審査経過と結果の報告など、本会議や、各常任委員会における審査の詳細なやりとりは、市議会ホームページの会議録検索システム、または半田市立図書館と亀崎図書館で閲覧することができます。ぜひご利用ください。(6月議会分について9月頃よりご覧いただけます。)

会議録検索システムは、半田市ホームページ<http://www.city.handa.lg.jp/>の、本会議会議録の検索からご覧ください。

平成30年度 各委員会 プロジェクトの調査テーマ

半田市議会では、各委員会が目的意識をもって調査テーマを設定し、課題の解決に向けて調査・研究を1年間行っています。今年度の調査テーマについては以下のとおりです。
常任委員会、特別委員会は3月定例会までに、調査研究の結果を議場にて報告する予定です。

総務委員会

半田病院の経営形態と役割について

半田市は新半田病院建設時に最適な経営形態を検討しています。病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応し、これまで以上に質の高い安全で安心な医療を安定的に提供していくために、市立病院の経営改善方策の検討が必要と考えます。

今年度半田病院は、経営形態の検討目標を「他の独立行政法人や地方公営企業法全部適用の病院への視察を通して、さらなる情報収集に努め、経営形態の見直しによるメリット・デメリットを検証、また、新病院計画の見直しや経営状況の変化も踏まえたくうえで、継続して最適な経営形態及び移行時期を検討する。」こととし、平成32年度には移行時期を決定するとしています。
当委員会としても半田病院の経営形態の方向性と役割、そして移行時期などを調査研究していきます。



文教厚生委員会

保育園等の民営化について

現在、半田市の保育園は、市立が13園、私立が4園、また保育園型の認定こども園として市立が2園、私立が1園と一部の保育園は民設民営ですが、ほとんどが公設公営を基本として運営しています。

しかしながら保育園等の運営には多様化する保育ニーズに加え、今後は老朽化した施設の建替・大規模改修が必要であり、市の財政負担が大きくなることから予想されます。
そのため半田市は「半田市保育園等のあり方研究会」を立ち上げました。将来の公立保育園等のあり方や民営化、幼保一体化、地域等課題の整理、意見交換を行い、「保育園等公民連携更新計画」を策定し、質の高い保育サービスと持続的な施設環境の整備を図るとしています。
そこで当委員会でも民間の資本や活力を活かした保育園運営を視野に入れ、将来の半田市が目指す方向性について調査研究していきます。

建設産業委員会

ゴミ減量に対する抜本的な取り組みについて

半田市の現状と課題

平成34年度には、2市3町の構成市町で知多南部広域環境センターが供用開始を予定しています。建設や運営コスト等の縮減が図られる施設規模としているため、供用開始までには定められたゴミの排出量となるよう、ゴミ減量を図っていく必要があります。

また、ゴミ処理にかかる費用は、家庭系ごみ量の排出の割合に応じて負担することとなっているため、今、半田市では抜本的なゴミの減量対策が必要となっています。

調査研究内容

平成29年度には、578だった家庭系ゴミの量を、平成34年度までに、定められた排出量である518となるよう、家庭系ゴミの抜本的な減量を目指し、調査研究していきます。



議会運営委員会

議会運営について

議会運営委員会では議会運営についてをテーマとし、昨年度に引き続き災害時における議員の役割（BCP）などを調査し、更なる議会改革を推進していきます。

政策調査プロジェクト

市政課題全般に対する調査研究及び議員の政策形成・立案能力の向上並びにその他議会活動に関し必要な事項について、臨機応変に協議します。

広報委員会

市議会だよりの編集に関わる業務とし、年に5回発行する広報紙の企画・編集を行っています。

広聴委員会

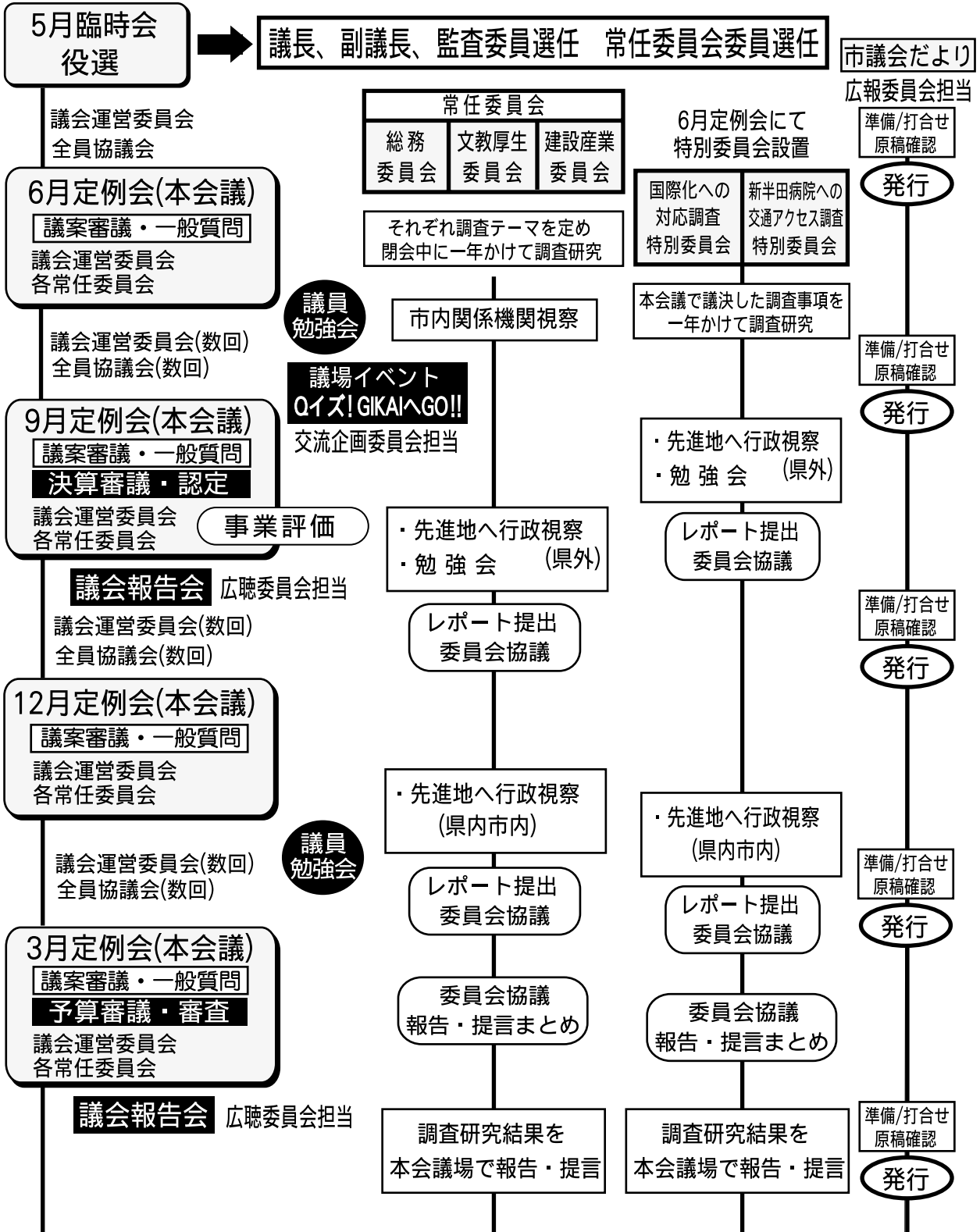
議会報告会の運営に関わる業務とし、報告会は、年に2回程度開催を予定しています。

交流企画委員会

広報広聴活動を通じた議会活性化に関わる業務とし、Qイズ！GIRKAIへGO!!を企画しています。

平成30年度

半田市議会 一年間の動き



* この他、各種審議会や知多半島内の市町で構成する組合議会へ出席します。
 * 政務活動費を活用した調査研究として、参考図書購入や先進地への視察、勉強会等への参加も実施しています。

住みやすい半田を目指して、21名でがんばっています！

不定期
特集

あの提言は どうなった



Vol.2

平成28年
6月議会

地域の防犯対策として、防犯カメラの設置を推進



自治区に対し、上限50万円で費用の3分の2を補助します。
設置にあたっては、半田警察署の意見を伺い地域防犯を進めています。



平成28年
6月議会

交通事故の未然防止・事故発生時の原因究明、走る防犯カメラ機能を持つドライブレコーダーを公用車に設置



公用車157台中83台に設置。
平成30年度に21台分追加し、安全・安心と防犯対策を続けています。



政務活動費を使用した議員活動について

ゴミ減量に対する抜本的な取り組みについて（平成30年4月25日～26日）

目的

平成34年に2市3町で構成される、知多南部広域環境センターが供用開始を予定しています。その時のゴミ処理にかかる費用は、家庭系ゴミの排出量の割合に応じて負担をすることが決まっています。現在の取り組みだけでは限界にきており、そのため新たにゴミ減量の抜本的な取り組みをしていく必要があります。ゴミ有料化がゴミ減量につながると仮定し、適正価格や有効性を調査・研究します。



視察先

東洋大学（山谷修作教授）・
東京都国立市・多摩市

学んだこと

- ・ゴミの見える化から全てがスタートする。見える化はゴミ減量を推進し、見えない化はゴミ減量を阻害する。見えるようにすることは、主にゴミの正しい排出方法、排出するゴミの処理費用、コスト等、ゴミ処理にかかる費用を認識してもらうこと。ゴミの有料化は意識改革の効果がある。
- ・ゴミ処理袋を有料化（手数料制度）にすると、大1枚50円で約17%から19%のゴミ減量効果がある。（山谷教授の研究結果）
- ・半田市に見合ったゴミ袋の適正価格は大1枚50円程度ではないか。理由はゴミ処理費用の約20%から30%の公平負担。
- ・有料化後の不法投棄が最初はあるので万全の対策と不法投棄しにくい環境整備（早期発見、迅速対応、通報、ネットワーク）が重要となる。
- ・住民説明会を徹底する。（広報で有料化特集号、ゴミの減らし方に関する情報、有料ゴミ袋が作成された段階での説明会では指定袋の現物を配布し認識を深めてもらう、情報流通を徹底しゴミ減量のチャンスととらえて啓発する）
- ・個別収集のゴミ減量効果は1.4%程度、コストは30%程度増加する。
- ・事業系ゴミの価格改定も行っていく必要がある。
- ・有料化導入後のゴミの排出量のリバウンドはない。

半田市に活かせること

- ・ゴミ減量（ゴミ排出抑制）のツールはゴミの有料化である。
- ・ゴミの有料化は市民への説明会等を徹底して丁寧に行っていく必要がある。
- ・社会的配慮を要する世帯、紙おむつを必要とする幼児や、障がい者のいる世帯等に対する減免措置などを講じる必要がある。
- ・不法投棄が予想されるので、地域担当職員等の配置による、早期発見迅速対応や通報、ネットワーク等、万全な対策が必要。
- ・事業系ゴミ価格改定の必要性。

傍聴にお越しく下さい

本会議は、議場傍聴席受付で「氏名・住所」を記入していただくだけで傍聴する事が出来ます。傍聴席では、一般質問、議案審議など、市政に関するさまざまな問題について、議員と市行政代表側の議論の様子を間近でご覧いただくことができます。

議会日程を議会事務局（TEL：84-0694）でご確認の上、ぜひ傍聴にお出かけください。

第2回 Qイズ!GIKAIへGO!!

～知ろう学ぼう我がまち半田!～



市内中学生を対象にクイズ大会を開催します。近い将来、選挙権を有することとなる中学生に議会や半田市のことについて関心を持ってもらおうと、クイズ大会を企画しました。

【日時】 8月21日(火) 13:30～ 【場所】 半田市役所 5階 議場

一般の方の応援も大歓迎です！ぜひ議場にお越しください。

(大会参加者の募集は、7月1日号の市報及び各中学校へご案内しました。)

今後の本会議の予定

8月臨時会：8月 9日(木)

9月定例会：8月28日(火)から9月26日(水)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します。

議会報告会を開催します

○日 時 / 平成30年9月28日(金) 午後7時00分～午後8時30分

○場 所 / アイプラザ半田 2階 研修室

内 容 決算議案の概要、結果及び
一般質問の概略、意見交換会等



皆さんお誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。

あとがき

半田市議会では昨年に続き、市議会や市政に親しんでもらえるようにクイズ大会を開催します。今回は中学生を対象としています。今後はより多くの方々にもっともつと市議会に関心をもっていただけるよう企画を立ててまいります。

また、今回の紙面から、一般質問のページにQRコードを載せました。スマートフォンをご利用の方は、QRコードを読み取っていただければ簡単に映像をご覧いただけます。是非、お試しください。少しづつですが、改善を心掛けています。感じ取ってくださいれば幸いです。

広報委員会

- 委員長 鈴木幸彦
- 副委員長 中川健一
- 委員 山本佳代子・小出義一
岩田玲子・山本半治

編集・発行 半田市議会

〒475-8666

半田市東洋町2-1

☎ 0569-0694

☎ 0569-7185

E-mail : giji@city.handa.lg.jp